

大阪ミュージアム構想の意義と展望

大阪府府民文化部都市魅力創造局都市魅力課
二井 康 仁

はじめに

大阪は今までにない転機を迎えようとしています。2010年の国勢調査では、大阪の人口は887万人。これまで人口は伸び続けていましたが、これから人口は減少し、2040年には今より160万人少ない724万人になると見込まれています。人口減少社会において、いかに大阪の都市魅力を高めるかが大きな課題になっています。

そんな中、『「明るく」「楽しく」「わくわく」するまち・大阪』の実現をめざしてきた「大阪ミュージアム構想」は、平成24年5月で立ち上げから満4年を迎えます。

府民運動としての「大阪ミュージアム構想」

この構想は、大阪のまち全体を屋根のない1つの大きな「ミュージアム」に見立て、歴史的なまちなみや豊かなみどり・自然など、その場に立てば素晴らしい「空気感」を感じることで、魅力的な地域資源を生かしたまちづくりを進め、①大阪に住む人々が地域で元気に愛着をもって暮らし続けること、②他の地域や外国の人々から魅力的だと感じていただけること、③これらが相乗効果を生み、「大阪は『ミュージアム都市』である。」と言えること、これらを目的に推進してきました。

特に重要なのは「大阪ミュージアム構想」というものを、府庁内の組織はもちろん、府内市町村や企





業・団体そして府民の皆様のご協力を得ながら、まさしく大阪を挙げての府民運動として進めてきたことです。

大阪のイメージが変わる！

まず、府民運動のベースは、大阪ミュージアム構想が、府内市町村のご協力のもと、大阪府民や大阪に縁のある人々から、地域の魅力的な場所やモノ、祭りやイベントなどを推薦いただき、約1200件もの大阪ミュージアム展示品・館内催し（以下、登録物という。）を登録していることです。

そして、これらが大阪ミュージアム構想の基本コンテンツとなっていることに大きな意義があります。

これまでは、大阪のイメージといえば大阪城や道頓堀、そして、たこ焼き、お好み焼き、お笑いといったものでした。しかし、多くの府民がこの構想に参加することで、みなさんがよいと思っている、いろんなものを発見する機会が増えました。このように大阪の多様な魅力や、まだまだ潜在的にある地域の魅力、その魅力を改めて掘り出し、磨き、発信することのできる可能性に気付いたことは、多様なまちの魅力づくりにおける大きな転換点であり、その意識を喚起したことは大きな成果であったといえます。

真の「ミュージアム都市」に向けて

一方で、大阪は日本中、世界中から人を呼び込めるような「ミュージアム都市」を目指しています。

そのために、府民や企業・団体の皆様の力を生か

しつつ、大型イベントを成功させ、これまでの規制やしがらみなど、様々な困難を克服しながら条件整備を図り、そのためのノウハウが蓄積されてきています。

しかし、大阪に常に多くの人を呼び込めるようになるためには、大型イベントをうまく活用しながら、来訪者にとって、いつ行っても楽しめる、感動できる魅力に溢れていることが大切です。

さらに、まちの魅力を高めるためにはまず「愛着度」（そこに住む人々や何かを企画する人がその土地に愛着があるか）、次に「共感度」（それを周りの人とどう共感しているか）、そして「おもてなし度」（外から来た人に対しておもてなしの気持ちはどうか）という視点をもって、まちづくりを推進する必要があります。

官民協働の着実な取組

今、大阪府内の各地において、地域の魅力を学び、高め、さらに訪れる人々を楽しませようという住民のボランティア活動が活発化しています。最近では「着地型ツーリズム」すなわち、これまでのように「発地型」出発地の旅行会社が旅行商品を企画するのではなく、現地主導で、旅行商品を企画するやり方が脚光を浴びていますが、こういった人たちが大きな役割を果たしています。

そして、旅行・鉄道事業者などと協力するなど、地域の潜在的な魅力を多くの人々に知っていただく機会も少しずつ広がっています。

そんな中、大阪府では大阪ミュージアム構想をご

<大阪ミュージアム構想における取組状況>

大阪ミュージアム基金への寄附(企業タイアップ含む)	⇒	平成22年度	157件
大阪ミュージアム登録物	⇒	平成23年末現在	1,214件
大阪ミュージアム学芸員	⇒	平成23年末現在	125名
大阪ミュージアム構想ホームページへのイベント情報投稿数	⇒	平成23年4~12月	135件
OSAKA LOVERS CMコンテストへの応募数・協賛協力社数	⇒	応募総数	106件、協賛・協力企業数 34社
いいデザイン100プロジェクト	⇒	平成23年末現在	のべ募集件数33件、のべ応募件数5,975件
大阪ミュージアム交流会への参加者数	⇒	平成22年2月5日開催	参加者数 197名
大阪ミュージアム構想ホームページの閲覧者数	⇒	平成23年度	月平均のべ閲覧者数23,367件
大阪ミュージアムモバイルガイドのページ閲覧(PV)数	⇒	運用開始後1ヶ月	のPV数 3,198件
認する大阪メールの配信登録数	⇒	平成23年末現在	約1,800件

大阪を愛するみなさんとともに、大阪の魅力を再発見し、自慢の大阪を内外に発信していきましょう！



「私の大好きな大阪」をテーマにCM動画を募集する「OSAKA LOVERS CMコンテスト」を2012年度も開催予定！作品の応募受付は秋頃の子定。詳細は、決定次第ホームページ等で公表します。
応募される方は、春以降、お出かけの際にビデオカメラやスマートフォンで大阪府内各地の魅力映像を撮影いただくなど、準備をお願いします！（昨年の入賞作品等はホームページをご参照ください。）



大阪のまち歩きをサポートする「大阪ミュージアムモバイルガイドシステム」、写真付きでコミ投稿もできてしまう便利なもの。スマートフォン片手に、あなたの現在地周辺の魅力スポットをすぐに発見することができます！
◇スマートフォンで無料アプリ「ふらっと案内」をダウンロード。
◇おすすめコースも次々登場。スタンプラリーなども予定しています。



大阪から様々なデザイン募集情報を発信し、全国のデザイナーにチャレンジしていただくプロジェクト！
◇制度の趣旨に賛同する様々な団体・企業のデザイン募集情報をメルマガ等を通じて全国のデザイナーやデザイン系の学校等に発信。クオリティの高い数多くの作品の応募が期待できます！
◇優秀作品は、いいデザイン100プロジェクト作品として登録し、大阪府のホームページで紹介しています。

支援いただく人々にお集まりいただき、成功事例の発表や意見交換、交流、ツーリズムのマッチングの場を設けさせていただいています。

また、「OSAKA LOVERS CMコンテスト」の開催を通じて、地域の人々や学生などの若者の視点を取り入れた魅力発信や、各地のツーリズムをサポートする「大阪ミュージアムモバイルガイドシステム」を導入するなど、広域の視点で各地域の取組を支援させていただくことも行っています。

さらに、大阪ミュージアム構想ホームページでは、この構想に対する支援や地域情報の投稿、様々なイベントや公募情報なども掲載しており、ホームページを介して実際の人の交流につながるなど、1つのコミュニティとして機能しています。

このような取組も、大阪ミュージアム構想が行政からの一方的な発信ではなく、府民のみなさんとともに大阪を盛り上げるために必要なものとなっています。

今後の展望

今後はますます、大阪府内各地の魅力づくり活動が進んでいくと思われま。様々な団体が発信する情報を、いかにわかりやすく広報し、誰にどのように届けていくのかということとはとても難しい課題ですが、これからの大阪全体の魅力づくりを見据え、大阪ミュージアム構想をリードし、コーディネートする仕組みが、改めて求められていると考えています。

大阪ミュージアム構想を通じ、大阪が一丸となって、まちの魅力を日本中、世界中に発信していく、そして府民のみなさんはもちろん内外から大阪に来られる方にも様々な感動を生み、人を動かし、いつも何かが変わっていく、そんな元気な大阪の原動力にしていきたい、そのような思いで私自身もこれから引き続きミュージアム構想の推進に取り組んでいきたいと思ひます。